



羽工祭ステージにて



第 69 号
 羽昨工業高等学校
 2026年3月4日



PTA会長
 寺門 克之

新たなスタートへ

卒業生の皆様、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんが歩んできた高校生活は、多くの学びや経験、そして友情に彩られたものであったと思います。特に、二年前に発生した令和6年能登半島地震は、羽昨工業高校にも大きな影響をもたらしました。当時の不安や不自由、さまざまな困難を乗り越え、今日この日を迎えられたことは、皆さんの人生においてかけがえのない財産となることでしょう。

さて、卒業生の皆さんはこれから、それぞれの夢を胸に、新たな道へと進みます。

社会へと羽ばたく就職の道を選ぶ皆さんは、新しい社会人としての一歩を踏み出します。期待と共に多少の不安を感じているかもしれません。不安を感じている方も、羽昨工業高校で培った専門知識を活かし、自身が持つ困難を乗り越える力を信じてください。常に感謝の気持ちを忘れず、謙虚に学び続ける姿勢こそが、皆さんの成長を支える礎となります。

また、更なる学びに挑戦する進学の道を選ぶ皆さんには、新たな学問の扉を開き、その専門性を深めていくてほしいと思います。多様な人々との出会いを大切にしながら、幅広い視野で学び続けていかれることを願っています。

在校生の皆さんも、自分自身の進路決定の日が着実に近づいています。地域と共に歩む羽昨工業高校の生徒として、先輩方が築き上げてきた伝統や精神を受け継ぎ、更なる素晴らしい学校を創り上げていくことを期待しています。

これから人生ではさまざまな出来事が待ち受けています。喜びもあれば予期せぬ困難や悲しみに直面することもあるでしょう。一人で悩まず仲間や先輩に相談することは恥ずか

しいことではありませんので、ぜひ頼ってください。そして、一日一日を大切にしながら、感謝の気持ちを忘れず前進していただきたいと思えます。

最後になりましたが、保護者の皆様には日頃よりPTA活動へのご協力に心より感謝申し上げます。引き続きPTA活動へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。卒業生の皆さんには、輝かしい未来への心からのエールを送りつつ、羽昨工業高校がさらなる発展を遂げることを祈念いたします。



百花線乱奉燈 (羽工祭にて)



校長 中越 顕治

羽工は楽しい(笑)

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

卒業生の保護者の皆様におかれましては、お子様が三年間の高校生活を終え、未来へと歩み出されること誠におめでとございます。

また在校生の保護者の皆様におかれましては、新年度を前に、新三年生は進路実現へ向けて本格的な準備を進め、新二年生は専門性を深めながら大きく成長していく、大切な時期を迎えようとしています。

高校生活の三年間は、長い人生の中では非常に短いものです。

しかしこの短い時間の中で、子どもたちは驚くほど大きく成長していきます。

その姿を、ぜひ保護者の皆様にも「直接」感じていただきたい。

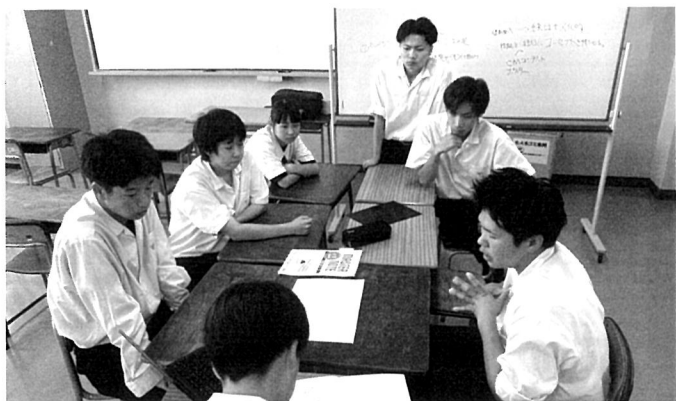
そんな思いから、本校PTAでは、保護者の皆様が学校に足を運び、生徒たちの活躍や日常に触れる機会を大切にしてきました。

中でも、私の心に強く残っているのが、九月の羽工祭です。

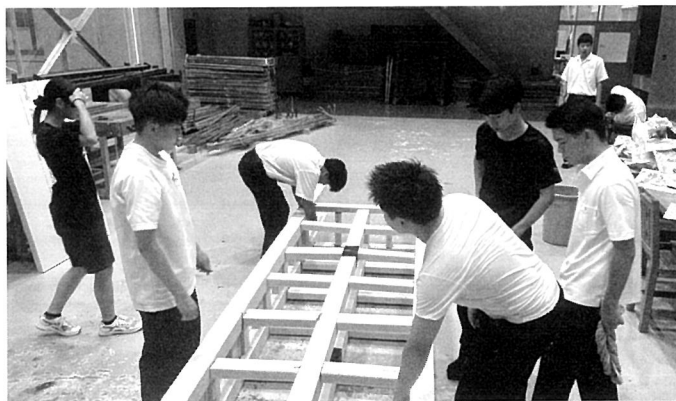
多くの保護者が来校され、生徒たちの生き生きとした姿を見てくださったあの光景は今も忘れられません。

今年の羽工祭で、生徒たちは「能登の復興のために、自分たちに何ができるのか」を真剣に考えました。

そして、能登の祭の象徴である「奉燈(ほうとう)」を、みんなで担ぐことを決断したのです。



生徒会執行部員会議の様子



奉燈製作の様子

六月に決意してから三か月。

設計から製作まで、放課後や夏休みを使い、生徒たちは知恵を出し合い、汗を流しました。

軽くて安全でありながら、荘厳で力強い奉燈を完成させたのは、羽工祭前日のことでした。

当日の成功を疑う者は誰もおらず、生徒会や文化祭実行委員の表情は、期待と喜びに満ちていました。

しかし――文化祭二日目、その瞬間は突然訪れました。

奉燈を実習室から外へ出そうと、少し傾けた瞬間、櫓の部分の根元が

らポッキリ折れてしまったのです。悲鳴、絶望、悔しさ、そしてあきらめ。

時間が止まったような、重い沈黙が流れました。

これまでの努力が水の泡になるかもしれない。

羽工祭のメインイベントができな

い。能登の復興への思いを形にできない――。

そのときです。

「いや、何とかする」

生徒会執行部と実行委員は、誰一人としてあきらめませんでした。

限られた時間の中で、考え得るすべての知恵と力を注ぎ込み、補修に立ち向かったのです。

一方では羽工祭全体の運営、もう一方では奉燈の修復。

息つく暇もないほどの集中力と責任感で、生徒たちは動き続けました。

そして――

奇跡は起こりました。

昼頃、補修が完了したのです。

継ぎはぎだらけの奉燈。

前日の完璧な姿とは違います。

しかしそこには、生徒たちの血と汗と叡智が、確かに刻み込まれていました。

さらに追い打ちをかけるように、
天気予報は雨。
すでに雨粒が落ち始めてもおかし
くない時間帯でした。

それでもー
奇跡は続きました。



奉 燈 (羽工祭にて)

雨は、最後まで落ちてきません
でした。

「いやさっかさー!」

大きな掛け声と、笛や太鼓の音色
にのせて、感動の「能登復興」奉燈が
羽工の空を舞いました。

数十人の生徒の何度も校内を練り
歩くその姿は、見る者すべての心を
揺さぶりました。

閉祭式。

そこには、涙を流す校長や教職員、
生徒会執行部と実行委員の生徒たち、
そして感動に包まれた全校生徒と保
護者の皆様がいきました。

私はその光景を前に、強く思いま
した。

生徒にとってかけがえのない青春
時代に、これほど「本気で楽しいこと」
ができる学校は、きっと羽工工業高
校しかない、と。

PTA活動は、お仕事やご家庭の
忙しい中のご協力いただくことも多
く、決して負担がないとは言えませ
ん。

それでも、学校に足を運んでいた
だくことで、家庭では見せないお子
様の表情、仲間と笑い合い、支え合

校内マラソン大会

PTA役員 横山 恵里

十月に入り雨の日が多く、当日も
心配していましたが、よく晴れた中
での開催となりました。

二年間連続で交通指導のお手伝い
をさせて頂きました。スタート、ゴー
ル地点では車通りが激しく、スピー
ドを出す車もいましたが、無事に終
えてよかったです。

生徒達は走っている途中でも元氣
よく挨拶をしてくれ、感心させられ
ました。運動が得意な生徒、そうで
ない生徒もみんな最後まで走りきっ
ている姿を見せてもらい、感動と元

い、困難に立ち向かう姿を見ることが
できます。

その瞬間こそ、親として何ものに
も代えがたい喜びではないでしょう
か。

これからも、保護者の皆様に「参加
してよかった」と心から感じていた
けるPTA活動を、共に創っていき
たいと考えております。

今後とも、温かいご支援とご協
力を賜りますよう、心よりお願い申し
上げます。

気をもらいました。



交 通 指 導 (マラソン大会にて)

PTA研修会



P T A 研 修 会 (視聴覚室にて)

11月1日(土)〜7日(金)に学校公
開がありました。11月1日(土)には
モノづくり講演会やPTA母親委員
会主催による研修会が行われました。
講師として、羽工警察署から木下
越子氏をお招きして「自転車のルール
改正及び昨今の事故状況」と題して講
演を頂きました。

来年度より、自転車ルールが改正
され、高校生であっても青切符が切
られ、反則金が課されるということ
などが説明されました。この後、保
護者や教職員から電動アシスト自転
車についてなど、いくつか質疑の応
答がありました。

石川県高P連研究大会・指導者研修会

11月5日(水)に石川県文教会館ホールにおいて、石川県高P連研究大会・指導者研修会が行われました。

記念講演として、気仙沼市総合体育館館長でけんぬま震災伝承ネットワーク副代表の菅原定志氏が『復興』として『その先』へと題して講師を務められました。学校は災害時には避難所もしくは避難場所になること、それを想定した準備が必要で、

研修旅行に参加して

研修委員長 柿島佐多之

11月22日(土)にPTA研修旅行にいつてきました。PTA役員4名、学校からは校長をはじめ7名の先生方の参加により、今回は日帰りで開



永平寺門前にて

体育館のエアコンは絶対に必要なことなどの指摘がありました。



文教会館ホール

催しました。

午前中に福井工業大学で研修を行い、昼食後に永平寺を散策という日程でした。その日は、秋晴れで気持ちのよい日になりました。福井工業大学では学校説明を聞き、教授による模擬授業をしていただきました。内容は電池を動力とした車で段差を越えていくためには何に工夫するかというものでした。多くのパーツがあり、自分で選び工夫していくことが楽しく、うまく段差を越えられると歓声があがっていました。

昼食は永平寺近くで精進料理を頂きました。体によさそうなものばかりで、若干物足りなさも感じましたがおいしく頂きました。永平寺の散策では中越校長の道案内でスムーズに散策できました。凛とした空気があり心が穏やかになるのがわかりました。

最後にご協力頂きました、全ての関係の皆様へ感謝を申し上げます。

羽工祭

母親委員長 谷島 美佳

今年も母親委員会として10月4日(土)の羽工祭二日目に模擬店を出しました。事前に、当日ご参加頂けるお母様方に学校に集まってもらい、模擬店のメニューや役割分担などのうち合わせを行いました。そこで、メニューは昨年と同様に肉巻きおにぎりに決定しました。昨年の経験がある方からは準備が比較的容易であることや、子供たちに人気があったことなどがあげられました。事前の食券販売でも多くの生徒や先生方から注文がありました。

当日の天候は、生憎の雨模様でしたが、前売り食券と当日販売分も含めて完売する盛況ぶりでした。



母親委員会による模擬店にて

子供達のイキイキとした表情を近くで見ることが何よりもうれしくて感動しました。また役員のお父様方もかき氷の模擬店を出し、たくさん訪れる生徒達にあたふたしながらも懸命に販売してもらいました。最後にPTA役員以外の保護者の皆様にも参加して頂き、本当に感謝申し上げます。

羽昨・羽昨工業高等学校 探究・課題研究合同発表会



ラクナはくい展示会場にて

令和8年1月22日(木)に本校第一体育館において羽昨高校の探究と本校の課題研究の合同発表会が行われました。

発表会の前には、1月17日(土)〜22日(木)にラクナはくい一階の文化交流ホールで本校課題研究の作品やパネルの展示がありました。

令和7年度部活動の成績(8月~)

陸上競技

◆石川県高校新人陸上競技大会 出場

卓球

◆石川県高等学校新人卓球大会 男子学校対抗 ベスト8

◆第40回石川県ジュニア団体対抗卓球大会 出場

バスケットボール

◆石川県高等学校バスケットボール選手権大会 出場

◆石川県高等学校新人体育大会バスケットボール競技 出場

サッカー

◆第104回全国高校サッカー選手権大会石川県大会 出場

◆石川県高等学校新人大会サッカー競技 出場

ラグビーフットボール

◆石川県高等学校新人大会ラグビーフットボール競技
第2位 北信越大会出場

バドミントン

◆石川県高等学校新人バドミントン選手権大会 出場

柔道

◆石川県高等学校新人大会柔道競技

男子団体 出場

男子個人戦 60kg級 廣瀬 一輝 第5位

66kg級 神野 怜央 第5位

73kg級 清水 嵩翔 第2位

女子個人戦 階級別 山森 陽菜 第1位

◆第48回全国高等学校柔道選手権大会石川県大会

男子団体 ベスト8(雨池、清水、神野、廣瀬)

男子個人 73kg級 清水 嵩翔 第3位

女子個人 無差別 山森 陽菜 第1位 全国選抜大会出場



剣道

◆全国高等学校総合体育大会剣道競技

男子団体 出場

(表、永原、清水、中澤、松柳、北村、西川)

◆石川県高等学校剣道新人大会

男子団体 第1位

(北村、西川、油野、天内、森、北、笹山、西)

男子個人 油野 夏暢 第2位

北 蒼生 ベスト8

◆第34回松本旗争奪令和7年度石川県高等学校剣道選抜大会

男子団体 (油野、笹山、西川、北、北村、森、西)

第1位 全国選抜大会出場

◆北信越高等学校剣道新人大会 男子団体 出場

弓道

◆石川県高等学校弓道新人大会

男子団体 第4位 女子団体 出場

男子個人 今井 悠斗 第4位 北信越大会出場

◆北信越高等学校新人大会

男子個人 今井 悠斗 準決勝敗退



ソフトテニス

◆石川県高等学校ソフトテニス秋季大会 男子団体 ベスト8

◆石川県高等学校ソフトテニス新人大会 出場

ヨット

◆全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会

男子420級 岩城・中橋組、細川・飴谷組 出場

男子ILCA6級 岡島 楓季 出場

◆わたSHIGA輝く国スポ2025セーリング競技

男子420級 岩城・中橋組 出場

男子ILCA6級 岡島 楓季 出場

女子420級 今村・中嶋組 出場

◆石川県高等学校新人ヨット選手権大会

男子420級 岡島・岡山組 第1位、網・川島組 第2位

岡田・飴谷組 第3位

男子ILCA6級

岡島 楓季 第1位、岡田 和弥 第2位

岡山 廉 第3位

女子ILCA6級

今村 美優 第1位、中嶋 さと 第2位



野球

◆石川県高等学校野球連盟 優秀選手 池田 光斗

◆能登地区優秀選手 畠中 徹平

◆第153回北信越地区高等学校野球石川県大会 ベスト16

相撲

◆石川県高等学校新人体育大会

体重別個人戦 80kg未満級 雨池 泰雅 ベスト8

写真

◆石川県高等学校文化連盟美術展「高校生の写真展」

山本 莉子 優良賞 作品名「斜陽の祝福」

津田ひなの 佳作 作品名「鳥」

宮本 皐月 入選 作品名「蜻蛉」

◆石川県高等学校文化連盟美術展「高校生の写真展」

中村 絢音 優秀賞 津田ひなの 佳作

◆いしかわインフラ・フォトクリップ

復旧・復興部門 坪田 侑真 入賞



コンピューター

◆ジャパンマイコンカーラリー2025北信越地区大会

Camera Class

茶畑凌太郎 第2位

嶋田 拓海 第3位 全国大会出場

片岸 大護 第4位 全国大会出場

◆ジャパンマイコンカーラリー2025全国大会

Camera Class 嶋田 拓海 第6位

測量

◆第46回石川県高等学校測量技術コンテスト 優良賞

進路指導課より

自らを切り拓くために

令和七年度進路状況と次年度への展望

今年度の三年生の進路決定状況は、大学等の進学希望者35名(大学20名、短大4名、専門学校11名)が無事に合格を果たし、就職希望者につきましても、県内6百件超という恵まれた求人環境を活かし、74名全員、内定を獲得することができました。希望する職種や地域を早期に絞り込み、求人票公開と同時に動き出せた生徒たちの努力が、この結果に結びつきました。

さて、次年度を見据え、先日2年生向けに「進路ガイダンス」を実施しました。そこで生徒たちに強調したのは、変化の激しい社会を生き抜くための「進路選択の基本原則」です。

一つ目は「自分の将来は自分で決める(主体性)」です。進学・就職どちらの道であれ、受け身の姿勢では納得のいく結果は得られません。「自分が何を学びたいか」「どのような働き方がしたいか」を自問自答し、主体的に情報を集める姿勢が不可欠です。

二つ目は「保護者の皆様と必ず相談する(対話)」です。進学における学費や生活費の総額把握、あるいは就職における通勤圏内や勤務形態(交替制

の有無などの確認など、大人の視点からの助言はお子様視野を広げます。ガイダンスでは、この冬休みの課題として「自己分析」に加え、これらの現実的な条件について「家族と話し合うこと」を強く促しました。

来春には早々に進路希望調査があり、企業見学等の動きが本格化しま



先輩から学ぶ会

最近3ヶ年の求人状況 求人倍率=(求人数/就職希望者数) 令和5年度より、県内は全数、県外は希望する地区、職種を優先受付

Table with 8 columns: 県内, 関東, 中部・北陸, 関西, その他, 計, 求人倍率. Rows for 令和5年度, 令和6年度, 令和7年度.

最近3ヶ年間の就職者地域別決定者数

Table with 8 columns: 羽咋・七尾中能登・かほく, 金沢市近郊, 関東, 中部・北陸, 関西, その他, 合計. Rows for 令和5年度, 令和6年度, 令和7年度.

令和7年度 3年生進路状況一覧

Large table showing career status for 3rd year students in Heisei 27, categorized by field (e.g., 就職, 進学) and specific courses (e.g., 建築, 土木, デザイン).

す。七月の求人票受付開始までに方向性を定めておくためには、準備期間であるこの「三学期」の過ごし方が鍵を握ります。ご家庭におかれましても、お子様の「やりたいこと」と、それを実現するための「現実的な条件」について、ぜひ、お話しいただければと思います。学校・家庭が連携し、生徒の背中を押していただけるよう、今後ともご支援をお願いいたします。